

平成30年度（30年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実		課(室)名	こども家庭課
	施策	子どもの成長への支援		電話番号	087-839-2353
	基本事業	配慮を要する子どもと保護者への支援		事業実施主体	市
	事務事業	ひとり親家庭子育て支援事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	生後6か月から小学校6年生までの子どもを養育するひとり親家庭を対象に、たかまつファミリー・サポート・センターの利用料金の一部を助成する。 対象者（すべてを満たすもの） ・高松市在住で、生後6か月から小学校6年生までの子どもを養育しているひとり親家庭 ・たかまつファミリー・サポート・センターの援助会員登録をしている人 ・市税を滞納していない人				
3年度概要	たかまつファミリー・サポート・センターの利用会員のうち、ひとり親家庭を対象に利用料金（1時間700円）の一部を助成する。 助成額 1時間当たり400円（子ども2人目以降は1時間当たり200円。1か月8,000円を限度に助成。）				
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）		

【事業の目的】

対象（何を）	ひとり親家庭の親
意図（どのような状態にしたいか）	経済的に不安定な状況におかれているひとり親家庭の、就労支援や育児の負担軽減を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H28	H29	H30	H31	中期目標 R.2
利用登録者数	人	41	47	54	42	45

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H28	H29	H30	H31	中期目標 R.2
利用時間数	時間	目標値	1,000	1,000	1,100	1,100	1,100
		実績値	947	1,227	1,428		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 利用時間数について、利用登録者数が増加したため、目標値を上回った。 （目標達成度）						（達成度） 129.8% 35点	
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） （目標達成度）						（達成度）	

【コストの推移】

指標名	単位	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（予算）
トータルコスト	[円]	1,980	2,053	2,106	2,122
（事業費）	[円]	410	536	594	610
（職員人件費）	[円]	1,570	1,517	1,512	1,512

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

市単独事業で実施しており、ひとり親家庭のファミサポ利用者に対し補助金を交付した。今後開始される幼保教育無償化への対応、利用登録者・利用時間の増大による予算の確保等が課題である。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

--

平成3年度（30年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実		課(室)名	こども家庭課
	施策	子どもの成長への支援		電話番号	087-839-2353
	基本事業	配慮を要する子どもと保護者への支援		事業実施主体	市
	事務事業	ひとり親家庭等医療費助成事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	母子家庭の母と子、父子家庭の父と子、両親のいない子及び両親のいない子（子は18歳年度末まで）を扶養する配偶者のいない兄・姉等を対象に県内現物、県外償還で保険診療に係る高額療養費までの自己負担分を助成 県費補助対象額の1/2（県制度は自己負担有）				
3年度概要	母子家庭の母と子、父子家庭の父と子、両親のいない子及び両親のいない子を扶養する配偶者のいない兄・姉等を対象に県内現物、県外償還で保険診療に係る高額療養費までの自己負担分を助成 県費補助対象額の1/2（県制度は自己負担有）				
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）		

【事業の目的】

対象（何を）	高松市内在住で保険証を持っている方で母子家庭等の母と子、父子家庭の父と子、両親のいない子、両親のいない子を扶養する配偶者のいない兄・姉等（子は18歳年度末まで）
意図（どのような状態にしたいか）	医療費に係る経済的な負担の軽減を図る

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
支払件数	件	152,487	153,064	150,767	148,116	148,116

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
				目標値				
			実績値					
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度)
	(目標達成度)							
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
			目標値					
			実績値					
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度)
	(目標達成度)							

【コストの推移】

指標名	単位	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（予算）
トータルコスト	[円]	451,289	456,145	451,212	449,147
（事業費）	[円]	434,017	439,454	434,576	432,511
（職員人件費）	[円]	17,272	16,691	16,636	16,636

【評価】

評価ランク (A～D)	B	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

本事業の実施により、ひとり親家庭等の医療費に係る経済的な負担を軽減している。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

所得制限も実施されており、財政的に厳しい状況の中、現状維持が妥当である。

平成3年度（30年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実		課(室)名	こども家庭課
	施策	子どもの成長への支援		電話番号	087-839-2353
	基本事業	配慮を要する子どもと保護者への支援		事業実施主体	市
	事務事業	ひとり親家庭自立支援事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	ひとり親家庭等の相談に応じ、その自立に必要な情報提供および指導を行うため、自立支援相談事業として、母子・父子自立支援員を配置する。 また、ひとり親家庭の総合的支援のため、窓口強化事業として就業支援専門員を配置する。				
3年度概要	母子・父子自立支援員（非常勤嘱託職員）4人により自立支援相談を行う。				
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務有）		


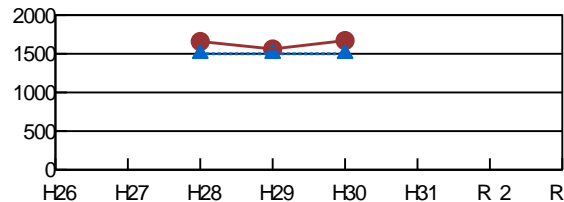
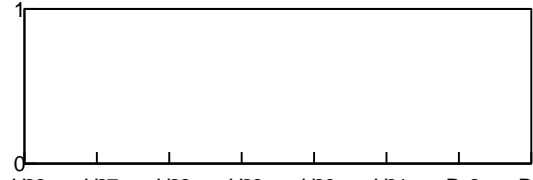
【事業の目的】

対象（何を）	ひとり親家庭等
意図（どのような状態にしたいか）	ひとり親家庭等の親からの相談に応じ、必要な情報提供及び指導を行い、ひとり親家庭の自立を促進する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
母子自立支援相談件数	件	1,659	1,401	1,671	1,500	1,500

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
成果指標	母子自立支援相談解決件数	件	目標値	1,500	1,500	1,500		1,500
			実績値	1,659	1,562	1,671		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 目標値を上回った。相談者が複数の問題を抱える相談が増え、他機関との連携による対応や同一相談者への複数回にわたる対応等が増加傾向にある。  （目標達成度）			 （達成度） 111.4% 35点				
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
			目標値					
			実績値					
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）		（目標達成度）	 （達成度）				

【コストの推移】

指標名	単位	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（予算）
トータルコスト	[円]	15,707	14,442	15,317	15,852
（事業費）	[円]	11,781	10,648	11,536	12,071
（職員人件費）	[円]	3,926	3,794	3,781	3,781

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） 相談者の相談内容が複合的であり、複数の相談課にまたがるような場合の対応が課題である（どこが主体になるのか、どこまでかわるのか等）。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			

平成30年度（30年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実		課(室)名	こども家庭課
	施策	子どもの成長への支援		電話番号	087-839-2353
	基本事業	配慮を要する子どもと保護者への支援		事業実施主体	市
	事務事業	母子家庭等就業・自立支援事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	「母子家庭等就業・自立支援センター事業」では、ひとり親を対象に就業支援講習会事業を開催する母子・父子福祉団体に事業を委託する。また、離れて暮らす親と子どもの面会交流のための連絡・調整、子どもの受け渡し、付き添い、見守りを行うNPO法人に対して、業務委託を行う。その他、「ひとり親家庭等日常生活支援事業」では、就職活動や疾病等の事由に対し、家庭生活支援員を派遣し、短期間を限度として一時的な家事・介護等のサービス提供事業を、母子・父子福祉団体等に委託する。				
3年度概要	母子家庭等就業・自立支援センター事業（委託先 香川県母子寡婦連合会） 面会交流支援事業（委託先 NPO法人面会交流支援センター香川） ひとり親家庭等日常生活支援事業（委託先 高松市社会福祉協議会）				
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）		


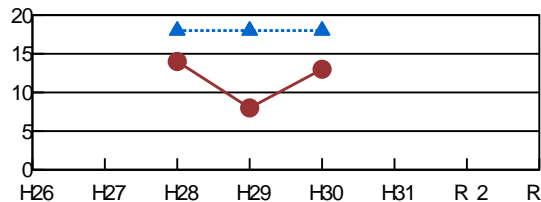

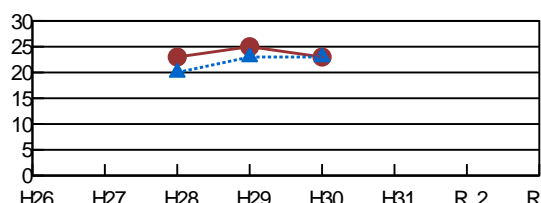
【事業の目的】

対象（何を）	ひとり親家庭の親
意図（どのような状態にしたいか）	ひとり親家庭の親の自立支援・就労支援を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H28	H29	H30	H31	中期目標 R 2
講座実施回数	回	37	37	37	37	37
家庭生活支援員派遣回数	回	188	255	391	190	190

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H28	H29	H30	H31	中期目標 R 2
講座受講申込者数	人	目標値	18	18	18		18
		実績値	14	8	13		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 介護職員初任者研修など就労に結びつく可能性が高い研修を開催しているが、期間が2か月と長期にわたることなどから申込者数が目標値に届かなかった。 							(達成度) 72.2% 25点
ひとり親家庭等日常生活支援事業利用登録者数	人	目標値	20	23	23		23
		実績値	23	25	23		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 登録者数は入れ替わりがあり、目標値と同数であった。 							(達成度) 100.0% 35点

【コストの推移】

指標名	単位	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（予算）
トータルコスト	[円]	9,833	9,044	9,135	6,223
（事業費）	[円]	6,693	6,009	6,110	3,198
（職員人件費）	[円]	3,140	3,035	3,025	3,025

【評価】

評価ランク (A～D)	B	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
日常生活支援事業における継続利用者について、当該事業の利用の是非を再度検証し、利用期間や対象者について整理した。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
日常生活支援事業では昨年度整理した事業方針に基づき、事業を運営していく。			

平成3年度（30年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実		課(室)名	こども家庭課
	施策	子どもの成長への支援		電話番号	087-839-2353
	基本事業	配慮を要する子どもと保護者への支援		事業実施主体	市
	事務事業	ひとり親家庭無料職業紹介事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	・自立支援プログラム策定事業 ・個々の児童扶養手当受給者の状況等に対応した自立支援プログラムを策定し、これに基づき、決め細やかで継続的な就労支援を実施する。 ・ひとり親家庭無料職業紹介事業 ・こども家庭課内に職業安定法第33条の4第1項の規定による無料職業紹介所を開設し、児童扶養手当資格者に対し、職業紹介や求人情報の提供などを行う。				
3年度概要	母子・父子自立支援プログラム策定員兼就業支援専門員2人（非常勤嘱託職員）を配置し、児童扶養手当受給者等を対象に就労に係るプログラム策定を行う。 また、サポーター企業からの求人を紹介、斡旋するひとり親家庭無料職業紹介を行う。				
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）		

【事業の目的】

対象（何を）	ひとり親家庭の親、離婚予定の親等
意図（どのような状態にしたいか）	就職が困難なひとり親家庭の生活の安定と福祉の向上を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H28	H29	H30	H31	中期目標 R 2
就労相談人数	人	1,757	1,369	1,415	1,500	1,500

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H28	H29	H30	H31	中期目標 R 2
自立支援プログラム策定件数	件	目標値	150	130	130		130
		実績値	95	94	79		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 目標値に達しなかった。プログラム策定可能者（児童扶養手当受給者等）が限定されていることや労働市場が売り手市場であり、支援対象数が減少していること等が理由であると思われる。なお、プログラム策定後のアフターフォロー件数は10件であった。		(目標達成度)					(達成度) 60.8% 21点
職業紹介件数	件	目標値	5	4	4		4
		実績値	3	6	15		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 目標値である4件を上回った。		(目標達成度)					(達成度) 375.0% 35点

【コストの推移】

指標名	単位	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（予算）
トータルコスト	[円]	11,748	11,044	11,011	11,144
（事業費）	[円]	6,252	5,733	5,718	5,851
（職員人件費）	[円]	5,496	5,311	5,293	5,293

【評価】

評価ランク（A～D）	B	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

--

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

売り手市場においても、就労にあたっては不利になる可能性があるひとり親家庭の親の就労支援については一定の需要があり、事業継続は必要である。

平成30年度（30年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実		課(室)名	こども園運営課
	施策	子どもの成長への支援		電話番号	087-839-2358
	基本事業	配慮を要する子どもと保護者への支援		事業実施主体	市
	事務事業	発達障がい児等支援事業（こども園運営課分）		事業期間	平成24年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	発達障がい等のあるケースに適切に対応するため、市内の公立保育所及び公立幼稚園に発達障がい児等支援員を配置し、早期に専門的な保育・教育支援や親子支援を行うとともに、私立保育所に対して、要支援児童を保育するための必要な経費の一部を支援するほか、専門家による継続した訪問支援を行い、具体的な指導を行うなど、関係機関と連携しながら適切な支援体制を整備する。				
3年度概要	<ul style="list-style-type: none"> 公立保育所及びこども園36か所に74人、公立幼稚園23か所に41人、支援員を配置 私立保育所の要支援児童保育に対する助成 発達障害児当支援体制構築事業 巡回支援員（専任）50施設 150回訪問 報告会の開催（4回）教職員研修の実施 				
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型			


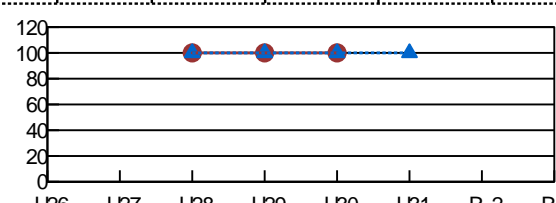

【事業の目的】

対象（何を）	市内の公立保育所及び公立幼稚園に在園する乳幼児
意図（どのような状態にしたいか）	主に、支援の必要性や緊急性の高い乳幼児を対象として、早期に対応し、生活上の介助や活動上の支援等を行う。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
発達障がい児等支援員配置施設数	か所	61	60	60	60	60

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
発達障がい児等支援員配置率	%	目標値	100	100	100	100	100
		実績値	100	100	100		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 市内の公立保育所・こども園及び公立幼稚園において、すべての施設について支援員を配置できている。  （目標達成度）	 （達成度） 100.0% 35点						
成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
		目標値					
		実績値					
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）	 （達成度）						

【コストの推移】

指標名	単位	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（予算）
トータルコスト	[円]	176,560	168,218	168,034	171,355
（事業費）	[円]	174,990	166,701	166,522	169,843
（職員人件費）	[円]	1,570	1,517	1,512	1,512

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	----------	--------------------------	-----------

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

各施設に支援員を配置し、関係機関等と連携を図りながら早期に対応することで、支援を必要とする乳幼児一人ひとりのニーズに応じた教育・保育環境を提供することができた。また、30年度から、国・県の補助金を受けることから、一般財源の支出減につながった。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

当該事業のうち特に平成26年度から実施することになった発達障がい児等支援体制構築事業等の効果を分析し、より効率的な事業運営となるよう取り組みたい。

平成3年度（30年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実		課(室)名	地域共生社会推進室
	施策	子どもの成長への支援		電話番号	087-839-2372
	基本事業	配慮を要する子どもと保護者への支援		事業実施主体	市
	事務事業	子どもの貧困対策コーディネート事業		事業期間	平成30年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	貧困の状況にある子どもやその親たちが、周囲から孤立することなく適切な支援を受けられる環境づくりを進めるため、専門的な知識や経験を有するコーディネーターを配置し、ワンストップで相談に応じることができる体制を整備するとともに、関係機関・団体等のネットワークを構築し、コーディネート力を高める研修を実施するなど連携の強化を図る。				
	3年度概要	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの貧困対策コーディネーターの配置（1名） ネットワーク会議の設置 全体会（講演会等）の開催 30千円 コーディネーター養成・育成研修会の開催 84千円 勉強会の開催 16千円 			
重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）	

【事業の目的】

対象（何を）	<ul style="list-style-type: none"> 関係行政機関・団体、市域の企業、NP、自治会その他の関係者など 香川県社会福祉協議会主催のコーディネーター養成研修受講者
意図（どのような状態にしたいか）	教育委員会・学校と児童福祉部門との密接な連携体制と、関係行政機関、市域の企業、NP、自治会その他の関係者などとのネットワークを構築し、総合的・包括的な支援体制を確保したい。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
コーディネート研修会・勉強会等開催数	回			2	4	4

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
		コーディネート研修会・勉強会等参加者数	人	目標値			100	240
			実績値			116		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度)
	関係機関・団体、企業、地域等からの研修会等への参加者が増加することで、子どもの貧困問題を認識が深まり、それらとのネットワークが強化される。	(目標達成度)						
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度)
		(目標達成度)						

【コストの推移】

指標名	単位	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（予算）
トータルコスト	[千円]			7,645	7,692
（事業費）	[千円]			83	130
（職員人件費）	[千円]			7,562	7,562

【評価】

評価ランク (A～D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	統合
-------------	----------	---------------------------	-----------

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

平成30年4月に専門のコーディネーターをこども女性相談課に1人配置し、関係機関等と連携し、子どもの貧困対策についてワンストップによる相談に応じた。また、当該事業を紹介するリーフレットを配布するなど、連携による関係機関相互の情報共有とネットワークの構築の重要性を周知・啓発した。しかしながら、コーディネーターの業務が十分認識されなかったこともあり、より実効的な事業を実施するためには、運営の在り方について検討する必要がある。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

引き続き、子どもの貧困対策について、連携による関係機関相互の情報共有とネットワークの構築の重要性を周知・啓発するとともに、より実効的な事業を実施するために、関係機関・団体等のコーディネート力を高める研修を実施し、連携の強化を図っていく。なお、平成31年度決算分より、地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制構築事業に統合する。

平成3年度（30年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実		課(室)名	こども園総務課
	施策	子どもの成長への支援		電話番号	087-839-2359
	基本事業	配慮を要する子どもと保護者への支援		事業実施主体	市
	事務事業	発達障がい児等支援事業（こども園総務課分）		事業期間	平成26年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	発達障がい等のあるケースに適切に対応するため、私立保育所等に対して、要支援児童を保育するための必要な経費の一部を支弁する。		
3年度概要	支弁対象施設30施設に50人		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	

【事業の目的】

対象（何を）	市内の私立保育園、認定こども園及び小規模保育事業所に在園する支援を必要とする乳幼児
意図（どのような状態にしたいか）	主に、支援の必要性のある乳幼児を対象として、早期に対応し、生活上の介助や活動上の支援等を行う。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H28	H29	H30	H31	中期目標 R.2
発達障がい児等受入施設数	か所				30	30

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H28	H29	H30	H31	中期目標 R.2
成果指標	発達障がい児等受入率	%	目標値			100	100	
			実績値			100		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 市内の発達障がい児受入可能な私立保育所、私立認定こども園及び私立小規模保育事業所において、当該施設に入所を希望する発達障がい児を受入できている。 (目標達成度)							(達成度) 100.0% 35点
	成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H28	H29	H30	H31
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（予算）
トータルコスト	〔円〕			10,784	8,785
（事業費）	〔円〕			10,028	8,029
（職員人件費）	〔円〕			756	756

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

--

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

今後も当該施策の状況を注視し、より効率的な事業となるよう取り組みたい。
